

みんなで考える予土線の未来

◎ JR予土線圏域の明日を考える会設立総会



JR四国内の路線で最も収支が悪く、存続が危ぶまれる予土線の利用促進や予土線圏域の活性化を図ろうと、10月10日、松野町コミュニティセンターでJR予土線圏域の明日を考える会設立総会が開催されました。

明日を考える会は、好藤地区出身で元愛媛県副知事の上甲俊史さんをはじめ、地元の商工団体や社会福祉協議会などの会長ら28人が発起人となり設立。利用促進策、活性化策を予土線圏域の住民などの民間で探り、活動していく予定です。

総会には、予土線圏域の市長、町長や道の駅の代表者ら約60人が出席し、今後の活動内容などを決定しました。

JR予土線圏域の明日を考える会会員募集中

正会員（一般） 5,000円／年間

正会員（学生） 2,000円／年間

賛助会員 10,000円／口・年間

問い合わせ 松野町商工会 ☎42-0505

仕出し料理に込める感謝と敬意

◎令和2年度敬老行事



10月21日から11月12日の間、各地区で敬老行事の仕出し料理の配達が行われました。

今年度の敬老行事は、新型コロナウイルス感染予防のため、式典、演芸等を中止にしたことから、仕出し料理の配達を実施。仕出し料理は、役場職員が配達を希望した招待者の自宅などを訪問し、「これからも元気でいてください」などと声をかけながら手渡ししました。受け取った高齢者の方は、町内の飲食店で作られたおいしそうな仕出し料理に笑顔を見せていました。

また、米寿を迎えた高齢者の方には、仕出し料理とともに表彰状と記念品が贈呈されました。

山で働く仕事ってカッコいい

◎日吉小学校 林業教室



10月26日、日向谷の県営林で、「林業教室」が行われ、日吉小学校の3、4年生7人が日吉農林公社の作業現場を見学しました。

児童たちは、初めに、農林公社の職員から作業内容の説明を受けた後、チェーンソーや重機を使ってヒノキやスギを間伐する作業を間近で見学。伐採作業では、高さ20メートルを超える木が倒れる大迫力の瞬間を目に焼き付けていました。さらに、のこぎりを使った枝打ちや「伐倒」「枝払い」「玉切り」を1台で全てこなすハーベスタなどの重機に乗る体験も行われ、児童たちは見学と体験を通して、林業の魅力を感じていました。